

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 権利擁護と成年後見制度			担当教員 氏名: 南 義昭						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(選択必修)			
<p>実務経験を用いてどのよ権利擁護センターぱあとな富山の会員として成年後見活動を行っています。成年後見制度について被後見人等のような授業を行っているか権利擁護の在り方や関係機関・多職種チームによる支援、司法との連携について具体的、实际的に学習をします。</p>									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動と関連する法を理解する。 相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する。 成年後見活動の実際について理解する。 					権利擁護 成年後見制度 日常生活自立支援事業				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 8. 9.				
A 知識・理解力			法律の知識や権利擁護の制度を総合的に理解することができる。						
B 専門的技術			権利擁護活動を具体的に理解することができる。						
D 問題解決力			事例を通して問題を解決する力を身につけることができる。						
G 倫理観			法制度を学ぶことで倫理観を醸成する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: 課題の論点整理と自己の見方、考え方を評価する。その他は出席態度を評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 8回目と最後の講義時にレポート提出。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題に対する論点の確認を行う。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①相談援助活動と法 DVD視聴				【予習】教科書第1章第1節を読む 【復習】①の復習	【予習】40分 【復習】40分				
②日本国憲法 民法				【予習】第1章第2節、第4節を読む 【復習】②の復習	【予習】60分 【復習】60分				
③成年後見制度				【予習】教科書第2章第1節～第3節を読む 【復習】③の復習	【予習】40分 【復習】40分				
④成年後見制度				【予習】教科書第2章第4節～第7節を読む 【復習】④の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑤日常生活自立支援事業				【予習】教科書第3章を読む 【復習】⑤の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑥成年後見制度利用支援事業				【予習】教科書第4章を読む 【復習】⑥の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑦権利擁護にかかわる組織・団体				【予習】教科書第5章を読む 【復習】⑦の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑧権利擁護にかかわる専門職の役割				【予習】教科書第6章を読む 【復習】⑧の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑨成年後見活動の実際 その1				【予習】教科書第7章第1節、第2節を読む 【復習】⑨の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑩成年後見活動の実際 その2				【予習】教科書第7章第3節、第4節を読む 【復習】⑩の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑪権利擁護活動の実際 その1				【予習】教科書第8章第1節～第3節を読む 【復習】⑪の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑫権利擁護活動の実際 その2				【予習】教科書第8章第4節～第6節を読む 【復習】⑫の復習	【予習】40分 【復習】40分				
⑬障害者ケアマネジメントにおける権利擁護 ケーススタディ				配布資料	【復習】40分				
⑭高齢者ケアマネジメントにおける権利擁護 ケーススタディ				配布資料	【復習】40分				
⑮振り返り ～社会福祉士会の取り組み～				配布資料	【復習】40分				
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座19「権利擁護と成年後見制度」第4版 (中央法規)				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 成年後見制度の申し立て等について新しく変更されています。講義後半では事例を通して成年後見活動の実際について学習し、権利擁護の理解を深めていきます。									